

「Indeed」新 TVCM シリーズ始動！

妻夫木聡さん、吉岡里帆さんが Indeed 新 CM に初出演

**おなじみのジングル（歌）「仕事バイトさがしは Indeed ♪」を歌唱！
息ぴったりの 2 人が生み出す、ユーモアあふれる掛け合いにご注目！**

新 TVCM お披露目篇（15 秒×2 タイプ）、スタジオ篇（15 秒×3 タイプ）

8 月 25 日（火）から全国で順次放送開始（一部地域を除く）

インタビューでは「お互いが俳優以外に向いていそうな職業」

「俳優人生の中で特に印象的だった職業」などを発表

世界 No.1 求人サイト*「Indeed（インディード）」は、妻夫木聡さんと吉岡里帆さんを新たに起用した新 TVCM お披露目篇（15 秒×2 タイプ）、スタジオ篇（15 秒×3 タイプ）を 8 月 25 日（火）から、映画館篇、楽器店篇、カフェ篇を 9 月以降から、それぞれ全国（一部地域を除く）で放送します。

*：Comscore, 総訪問数, 2026 年 3 月



新 TVCM スタジオ「今から」篇（写真上）、お披露目「新しい仕事」篇（写真下）より

Indeed は、ブランドコンセプトとして「いい未来は探せる」を掲げ、今後の自分の働き方や生き方を模索している人々に対し、皆様の自己実現を支えていくパートナーとして新しい働き方や生き方、成長の可能性を提供していきたいと考えています。新コミュニケーションのお披露目となる今回の TVCM で、妻夫木さんと吉岡さんは何かの役柄や設定、ストーリーを演じるのではなく、ブランドの新しい顔として堂々と「俳優・妻夫木聡」「俳優・吉岡里帆」自身として登場。2 人が自然体で会話する姿を、妻夫木さんと吉岡さんが新たにレコーディングした「♪仕事バイトさがしは Indeed」というおなじみのフレーズに乗せてお届けします。今回の CM シリーズでは、妻夫木さん、吉岡さんが自ら取材者となり、仕事で“いい未来”を見つけて働く人々にフォーカスを当てるドキュメンタリータッチの世界観を展開します。その第 1 弾として、俳優であるお二人にとって日常のスタジオを舞台に、撮影の準備をしながら歌う様子や、仕事をテーマにしたトーク、コミカルなやりとりを描いたお披露目篇、スタジオ篇を公開します。さらに、9 月以降には映画館や楽器店、カフェを舞台にした続編 CM も公開予定です。

■新 TVCM 概要

- タイトル : お披露目「新しい仕事」篇、お披露目「合図」篇
スタジオ「今から」篇、スタジオ「ドラムロール」篇、スタジオ「お弁当」篇
- 出演 : 妻夫木聡、吉岡里帆
- 放送開始日 : お披露目篇（15 秒×2 タイプ）、スタジオ篇（15 秒×3 タイプ）＝2026 年 8 月 25 日（火）
映画館篇、楽器店篇、カフェ篇＝2026 年 9 月以降に順次放送予定
- 放送地域 : 全国（一部地域を除く）
- CM 本編映像 : お披露目「新しい仕事」篇 <https://youtu.be/U3EO5lIRkAA>
お披露目「合図」篇 <https://youtu.be/gUI2iLaHfNw>
スタジオ「今から」篇 <https://youtu.be/AGd8jeSb8wl>
スタジオ「ドラムロール」篇 <https://youtu.be/QGgfxlmSB8>
スタジオ「お弁当」篇 <https://youtu.be/-k5D-GtUjNI>

■撮影エピソード

◇妻夫木さんにセリフを言うタイミングを与えない吉岡さん鉄壁のドラムロール

吉岡さんが「ジャカジャカジャカジャカ……」とドラムロールを口ずさみ続け、妻夫木さんが「Indeed は顧客満足度なんと…No.1！*」と言おうとするたびに絶妙なタイミングでドラムロールを重ねる「スタジオ」篇のワンシーン。撮影では、妻夫木さんがセリフを切り出そうとするたびに、吉岡さんが独特のテンポで「ジャカ、ジャカ、ジャカ」とドラムロールを重ねるため、なかなか話し始めることができません。妻夫木さんも「ちゃっ、ちゃっ」と自らリズムを取りながらタイミングをうかがいますが、そのたびに吉岡さんがすかさずドラムロールを重ね、最後までセリフを差し込めず。息の合った 2 人ならではの絶妙な間とテンポ感が、コミカルなシーンをより印象的なものにしていました。

*：2026 年 オリコン顧客満足度®調査 求人情報サービス 総合第 1 位



◇名品ベースを懐かしそうにめぐる妻夫木さんとアドリブで盛り上げる吉岡さん

楽器店篇では、小道具としてベースの名器が登場。「30 年以上前に弾いていました」と懐かしそうに振り返った妻夫木さんは、しばらくスタッフと音楽談義に花を咲かせる場面がありました。また、「フェスは何人ぐらいいれば、できるんですかね」と尋ねる吉岡さんに対して、妻夫木さんが「見に行っちゃう？」と返すシーンでは、その後の吉岡さんのリアクションについて、いくつかのパターンを試しながら撮影が進行。最後に監督が「もう一回やってみたら、何か出てくるかもしれません」と細かな演技指導は行わず、自由演技に委ねると、吉岡さんは妻夫木さんの問いかけに身を乗り出し、無言で応えるユニークな演技を披露しました。撮影後、監督が「OK でいいですか？」と確認すると、吉岡さんは満面の笑みで「OK です！」と応え、現場は和やかな雰囲気になりました。



◇妻夫木さん&吉岡さんによる絶妙な温度差の掛け合い

カフェ篇では、妻夫木さんが胸ポケットから折り畳み式のキーボードを取り出し、タイピングを始めるシーンを撮影。キーボードを取り出す動きがあまりにもスムーズだったことから、監督が「キーボードを開く時のキレが良いですね」と声を掛けると、妻夫木さんは「え、ホントですか？」と照れ笑いを浮かべていました。また、「早起きは三文の徳」にまつわるトリビアを披露するシーンでは、二人の絶妙な掛け合いが現場の笑いを誘いました。吉岡さんが「三文って、100円ぐらいらしいですよ」と、ちょっぴり誇らしげに、しかも食い気味に話しかけると、その勢いを妻夫木さんはじーっと受け止め、最後に「そうなの？」のポツリ。得意げにトリビアを披露する吉岡さんに対して、妻夫木さんが淡々としたリアクションでオチをつけるという、絶妙な温度差の演技がとても印象的でした。



◇2人の自然なやりとりから生まれる空気感を大切にしながら撮影

映画館篇では、「始まる前からかけちゃう人いますよね」という吉岡さんのつぶやきに対し、妻夫木さんが3Dメガネをかけたまま、まるで聞こえていなかったかのように「何が？」と返すシーンを撮影。事前に用意されたセリフだけでなく、その場で生まれた空気感も大切にしながら撮影が進められました。すると、3Dメガネ姿の妻夫木さんを見た吉岡さんが思わず笑みを浮かべ、「何でもないです」と返すアドリブが飛び出し、そのまま採用。完成したCMでは、2人ならではの自然な掛け合いが印象的なシーンとなりました。



■妻夫木聡さんインタビュー

——多くの人が仕事を見つけている世界 No.1 求人サイト*Indeed のCMシリーズに、ご出演が決まった時の感想をお聞かせください。

昔からよく見させていただいていたCMに、まさか自分が出演できると思っていなかったもので、うれしかったです。自分にどんな仕事合っているだとか、仕事っていろんな仕事があるから選べる時代だしね、という中で、最初に目にするのがIndeedさんだと思うので、僕たちがCMに出演させていただけるのは本当に光栄だなと思いますし、今日も楽しみながら撮影させていただきました。

*：Comscore, 総訪問数, 2026年3月

——このCMシリーズでは今後さまざまな職業の“現場”に赴き、インタビューを行っていただく予定ですが、現場が見てみたい、深掘ってみたいと思うお仕事を教えてください。

役作りでいろいろな職業の方にインタビューさせていただき、実際にその職業を体験することもありましたが、その中で一つ挙げるとしたら、伝統工芸を仕事にされている方々でしょうか。古き良きものをずっと守り続けていて、さらにそれだけでは今の時代は生き残れないということで、自分らしさとか、未来に継承していくものを残していこうとしている部分で、どういう想いでやられているのか。魂を込めてやっていて、本当に小さい積み重ねで残っていくものだと思うので、とても興味がありますね。

——「いい未来は探せる」というブランドコンセプトにちなんで、もしも生まれ変わったらやってみたいお仕事や職業を教えてください。

昨年馬に関連するドラマをやっていた時、馬に関わる仕事をやってみたいと思ったことがあります。競馬も継承の話だし、血統だとか、いろいろ積み重ねて、人の夢も託されていて、すごい世界だなと感じました。すごく大変な仕事だと思いますが、命と向き合いながらいられる場所にはすごく憧れがあります。

——今回共演されている吉岡里帆さんが、俳優以外で向いていそうだなと思うお仕事は何だと思いますか？

吉岡さんは可愛らしくて、しっかりされていますが、ちょっと抜けているところもあって、そのギャップが魅力的な方です。でも、仕事に関してはとても真面目で一直線な人で、しっかりと一つ一つのことに向き合っていく方なので、秘書が向いているんじゃないかなと思います。絶対ミスしなさそうなイメージがあるんですよ、吉岡さんって。社長のスケジュールが急に入ったら、「はい、どうぞ」とすぐに返せるイメージがあって、そういう対応能力とか、柔軟性も含めて、やってくれるんじゃないかなと、僕は勝手に考えています。

——他人から見た自分と自分の印象は違うと思いますが、ご自身はどんなふうに見られていると思いますか？

全く分かりません。だからこそ、逆に、吉岡さんが僕に、どういう職業が合うのか選んでもらえたらうれしいですね。たぶん、吉岡さんならバシッと見つけてくれるはずです。僕たちの関係も長いので（笑）。

——お仕事をやる上での“プロフェッショナルなこだわり”を教えてください。

僕は仕事に対して後悔をしたくないんですね。反省というのは当然毎回ありますし、悩んでもいいし、迷ってもいいと思いますが、その代わり、自分自身が「やっておけば良かった」とか、「あれ？ 全然分からない…」みたいなことになるのが絶対許せなくて。だから、準備を怠らないということなのかなと思います。監督やプロデューサーとか、いろいろな方に「本当に不器用だね」とよく言われるんですよ。真っすぐ行けばすぐゴールなのに、いつも遠回りしちゃうというか。パチッとすぐ役に入れるような、そういう人間ではないので、一つ一つ積み重ねてゴールに向かっていくみたいな、そういう人生を歩んでいます。

——これまでさまざまな職業の役を演じられてきましたが、その中で特に印象的だった職業を教えてください。

いろいろな職業に面白さを感じていますが、その他で特に印象的だったのは、医者役をやった時です。役作りとして麻酔医さんが立つ位置で、開胸から閉胸まで4、5時間ほど手術を見させていただいて。医者という方々が向き合っているものは、僕たちの想像をはるかに超えているなと思いました。

——いい仕事ができたと、ご自身へのご褒美は何かありますでしょうか？

これは簡単ですね。ビールです。帰って、プシュッと開けて飲むビールが最高ですね。僕にとって、一番のご褒美です。まだ全部終わっていませんけど、今ちょっとビールのお話をしているだけで、半分ビールを待っている口になっちゃってました。すみません（笑）。

——もし AI が俳優の仕事をサポートしてくれるようになったら、どんなことがしたいですか？

もし AI がサポートしてくれるとしたら、「世間はこういう妻夫木聡も見たいと思っていると思うよ」みたいな助言をくれたらうれしいかなと思います。でも、AI というものが進化していくと、Indeed さんの的には、よりマ

ツチングがうまくいくようになると思うので、その点はすごくいいですね。職業もいっぱいあり過ぎて、何が自分に合っているかなんて、なかなか分からないですもんね。

——これから新しい一步を踏み出す人や、未来に向かって頑張る働く人たちに向けて、エールをいただけますでしょうか。

この世の中にあるいろいろな職業の一つ一つが、僕にとっては魅力的です。どんな職業にも確実に面白さというものが存在しているので、自分自身がその職業に対して、どう面白さを見つけられるのか、どう向き合えるのか、ということだと思います。だから、Indeed さんに登録し、一步を踏み出すことから始めた方がいいんじゃないかなと思います。努力も何も、とにかく始めないことには何も始まらないと思うので、まずは最初の一步を踏み出してください。自分に合うかどうか分からないけど、たぶん皆さんは面白いと思う部分を見つけられると思いますので、ぜひ希望ある未来に向かって走り出してほしいです。

■吉岡里帆さんインタビュー

——多くの人が仕事を見つけている世界 No.1 求人サイト*Indeed の CM シリーズに、ご出演が決まった時の感想をお聞かせください。

学生の頃、多くのアルバイトを経験した一人としても、どこかで働いて、人と出会って何かを得るということはすごく大きい経験だったので、求人サイト世界ナンバーワン*の Indeed さんと一緒にできることがすごくうれしかったです。また、CM のジングルがすごく有名なので、「あのジングルは出てくるのかな？」とワクワクしました。歌うと、ちょっと前向きな気持ちになれますね。このジングルを考えた方、天才だと思います。

*：Comscore, 総訪問数, 2026 年 3 月

——この CM シリーズでは今後さまざまな職業の“現場”に赴き、インタビューを行っていただく予定ですが、現場が見てみたい、深掘ってみたいと思うお仕事を教えてください。

先日ちょっとおどろおどろしい特殊メイクをさせていただいた時、特殊メイクのチームの方が「自分はマイケル・ジャクソンさんの『スリラー』の影響で、今の会社を立ち上げたいと思って始めたんです」とおっしゃっていて。すごく夢が詰まっていて、お話を聞いていてとても楽しかったので、そういう映画やドラマ、舞台の専門職の方たちへのインタビューはぜひしてみたいなと思っています。

——「いい未来は探せる」というブランドコンセプトにちなんで、もしも生まれ変わったらやってみたいお仕事や職業を教えてください。

獣医師です。実家で動物をたくさん飼っていたので、獣医師さんには本当に何度も何度も助けていただいて、とても感謝しています。病気をしている子がつらそうな姿を見ていて、自分にちょっとでも知識があればなと思う瞬間が多かったので、もし生まれ変わったら、獣医師を目指してみたいです。

——吉岡さんに向いているお仕事として、妻夫木さんは「仕事に関してとても真面目で一直線な人」「しっかりと一つ一つのことに向き合っていく方」という理由から、「秘書」を挙げていましたが、そのコメントを聞いてどう思いますか？

理由が本当に優しくて温かくて「恐縮です」という感じですが、とてもうれしいです。妻夫木さんといういろいろなお仕事させていただいた中で、私のことをそんなふうに見ていてくださっていたんだなと知って、ジーンとききました。ありがとうございます。

——今回共演されている妻夫木さんが、俳優以外で向いていそうだなと思うお仕事は何だと思いますか？

何だかシンクロするなと思いました。妻夫木さんは経営者に向いていらっしゃるだろうなと。妻夫木さんが社長で、私が秘書をする、みたいな関係がいいなと思いました。妻夫木さんとお話ししていると、人を引っ張っていく力だとか、「こうしたらいいんじゃないか」と提案する力だとか、そういった部分が圧倒的にリーダ

一だなと思います。「この人のために頑張りたい」と思わせるような人徳といいますか、人としての厚みみたいなものを妻夫木さんからいつも感じているので、何か会社を立ち上げられたらいいかながでしうか、と思ってしまいます（笑）。もう一つは、絶対お似合いだろうなという、ただのファン目線になってしまいますが、パイロットの役をやっていただきたいです。

——お仕事をする上での“プロフェッショナルなこだわり”を教えてください。

臨機応変に現場で対応をしていく、ということでしょうか。撮影は現場のスタッフの皆さんや監督、プロデューサーの方たちの思いを集約させる場所だと思うので、そこで俳優としてたくさんレパトリーを用意して、どんなパターンが来てもお応えできるように、返せるようにということは常に心がけています。

——これまでさまざまな職業の役を演じられてきましたが、その中で印象的だった職業を教えてください。

とある映画に出演させていただいた時の職業で、アニメーションの監督ですね。役を演じるに当たって、アニメができるまでの過程に携わる、全ての職業の方にインタビューをさせていただく機会があったんですけど、まさに Indeed さんの CM の設定のような感じで、皆さん一人一人に楽しいことや大変なこと、やりがい、どんな努力をされているのか、実際の実務はどういうものなのかとか、どの方のお話も本当に感動の連続でした。そういう一つ一つの作業があって、初めて世界中で愛されている素晴らしいアニメーションが生まれているんだなということを実感する役柄だったので、監督はもちろん、制作スタッフの皆さん全員に頭が下がりました。

——いい仕事ができた時、自分へのご褒美は何かありますでしょうか？

ちょっとした旅行ですね。全然遠出できなくてもいいんですけど、お仕事のことでいっぱいだった自分の頭を休める時間が一番のご褒美です。

——もし AI が俳優の仕事をサポートしてくれるようになったら、どんなことをしたいですか？

身の回りのちょっとした管理やスケジュールもそうですが、一番お願いしたいのは、やっぱり体調面、健康面の管理ですね。あと、例えば舞台で、2 時間から 3 時間ぐらいのセリフを一気に入れないといけないとなった時、私の場合は相手の方のセリフも録音して、それに対応する、みたいなセリフの覚え方をしているので、もし AI が代わりにセリフ覚えを手伝ってくれたら、とても便利だろうなと思います。

——これから新しい一歩を踏み出す人や、未来に向かって頑張る働く人たちに向けて、エールをいただけますでしょうか。

私自身も学生時代にいろいろなアルバイトをさせていただいて、その場所その場所で見える景色は、どれも無駄じゃなかったなと明確に思っていて、その時間の積み重ねが、今の自分に間違いなくつながっていると思います。どんな経験も無駄にならないという思いで、やってみたいこと、今はやりたいことが近くになくても、その先に自分でやりたいものがあるということを見据えながら、一歩一歩踏み出していっていただきたいなと思います。いつでも私は Indeed の CM を通して応援しています。一緒に頑張っていきましょう！

■キャスト



妻夫木 聡 SATOSHI TSUMABUKI

1980 年福岡県生まれ。1998 年 TV ドラマ CX「素晴らしい日々」でデビュー後、映画「ウォーターボーイズ」(01)や「ジョゼと虎と魚たち」(03)で主演を務め、数々の賞を受賞し注目を集める。その後 NHK 大河ドラマ「天地人」(09)の主演で国民的俳優としての地位を確立。「悪人」(10)をはじめ、「怒り」「ある男」など日本アカデミー賞を計 9 作品で 10 度受賞。近年は映画「宝島」や TBS 日曜劇場「ザ・ロイヤルファミリー」(ともに 25)にて主演、NHK 朝ドラ「あんぱん」(25)、「人はなぜラブレターを書くのか」(26)にも出演する実力派俳優。



吉岡 里帆 RIHO YOSHIOKA

1993 年 1 月 15 日生まれ、京都府出身。2015 年、『あさが来た』で NHK 連続テレビ小説に初出演。2024 年公開の映画『正体』で、第 48 回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を受賞。現在、映画、ドラマ、舞台などジャンルを問わず活躍。主な出演作に映画『見えない目撃者』(2019)、『泣く子はいねえが』(2020)、『ハケンアニメ!』(2022)、『九龍ジェネリックロマンス』(2025)、ドラマ『ガンニバル』(2022/2025)、『忍びの家 House of Ninjas』(2024)、TBS 日曜劇場『御上先生』(2025) NHK『ひらやすみ』(2025)など。現在、NHK 大河ドラマ『豊臣兄弟!』に主人公の妻・慶役で出演中。今後、映画『シャドウワーク』(W主演)、『SUKIYAKI』の公開が控えているほか、来年 1 月より NHK 連続テレビ小説『デンジャラス』での主演が決まっている。

Indeed (インディード) について

Indeed は、最も多くの人々が仕事を見つけている世界 No.1 求人サイト (Comscore 2026 年 3 月総訪問数) であり、60 か国以上で 6 億 4,500 万件を超える求職者プロフィールと 330 万以上の雇用主をつなぐグローバル採用プラットフォームです。AI とリアルタイムデータを活用し、求職者に関連性の高い仕事との出会いを提供するとともに、雇用主の迅速な採用を支援しています。

詳細は <https://jp.indeed.com> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先
<https://jp.indeed.com/news/support/form>